

# 新地方公会計制度による財務書類（西尾市）

新地方公会計制度に基づく財務書類4表を作成しました。『総務省方式改訂モデル』を採用し、「地方財政状況調査（決算統計）」や決算書の数値を基礎として作成しています。

## ①貸借対照表（バランスシート）

平成26年3月31日現在

(ア) 普通会計

(イ) 連結

住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを総括的に対照表示した財務書類であり、表内の資産合計額（表左側）と負債・純資産合計額（表右側）が一致し、左右がバランスしていることからバランスシートとも呼ばれています。

☆連結財務書類は、西尾市の普通会計だけでなく、公営事業会計、関連団体である西尾市土地開発公社、一色さかなセンター株式会社も一つの行政サービス実施主体ととらえ、それらを含めて作成した財務書類です。

資産の部（これまで積み上げてきた金額）		負債の部（将来世代が負担する金額）	
1. 公共資産	1,987億7千万円	1. 固定負債	465億8千万円
（1）有形固定資産	1,986億3千万円	（1）地方債	363億9千万円
（2）売却可能資産	1億4千万円	（2）退職手当引当金	101億9千万円
2. 投資等	97億 円	2. 流動負債	59億 円
（1）投資及び出資金	59億2千万円	（1）翌年度償還予定地方債	40億2千万円
（2）基金等	16億 円	（2）その他	18億8千万円
（3）その他	21億8千万円	<b>負債合計</b>	<b>524億8千万円</b>
3. 流動資産	87億3千万円	<b>純資産の部（現在までの世代が負担した金額）</b>	
（1）歳計現金 <b>A</b>	25億7千万円	<b>純資産合計 <b>B</b></b>	<b>1,647億2千万円</b>
（2）財政調整、減債基金	58億5千万円		
（3）その他	3億1千万円		
<b>資産合計</b>	<b>2,172億 円</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,172億 円</b>

資産の部（これまで積み上げてきた金額）		負債の部（将来世代が負担する金額）	
1. 公共資産	2,962億 円	1. 固定負債	812億3千万円
（1）有形固定資産	2,960億1千万円	（1）地方債、長期借入金	684億2千万円
（2）無形固定資産	1千万円	（2）退職手当引当金	121億2千万円
（3）売却可能資産	1億8千万円	（3）その他	6億9千万円
2. 投資等	54億8千万円	2. 流動負債	98億8千万円
（1）基金等	30億6千万円	（1）翌年度償還予定地方債	62億2千万円
（2）その他	24億2千万円	（2）その他	36億6千万円
3. 流動資産	153億9千万円	<b>負債合計</b>	<b>911億1千万円</b>
（1）資金 <b>A</b>	130億7千万円	<b>純資産の部（現在までの世代が負担した金額）</b>	
（2）その他	23億1千万円	<b>純資産合計 <b>B</b></b>	<b>2,260億1千万円</b>
4. 繰延勘定	5千万円		
<b>資産合計</b>	<b>3,171億2千万円</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>3,171億2千万円</b>

## ②行政コスト計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

1年間（4月1日から翌年3月31日まで）の行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの対価として得られた使用料・手数料などの収入の財源を対比させた財務書類です。

	(ア) 普通会計	(イ) 連結
<b>経常行政コスト</b>	<b>484億6千万円</b>	<b>839億4千万円</b>
1. 人にかかるコスト 人件費など	97億1千万円	148億8千万円
2. 物にかかるコスト 物件費、維持補修費など	177億3千万円	266億4千万円
3. 移転支出的なコスト 社会保障給付、補助金など	203億4千万円	403億9千万円
4. その他のコスト 利息の支払いなど	6億8千万円	20億3千万円
<b>経常収益</b> 使用料・手数料など	<b>17億2千万円</b>	<b>299億2千万円</b>
<b>純経常行政コスト <b>C</b></b>	<b>467億4千万円</b>	<b>540億2千万円</b>

## ③純資産変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

①貸借対照表内の「純資産の部」に計上されている各数値が1年間どのように変動したかを表している財務書類です。

	(ア) 普通会計	(イ) 連結
<b>平成24年度末残高</b>	<b>1,645億7千万円</b>	<b>2,244億8千万円</b>
1. 純経常行政コスト <b>C</b>	△467億4千万円	△540億2千万円
2. 財源調達 市税、地方交付税、 国・県補助金など	468億8千万円	555億9千万円
3. その他 臨時損益、資産評価差額など	1千万円	△4千万円
<b>平成25年度末残高 <b>B</b></b>	<b>1,647億2千万円</b>	<b>2,260億1千万円</b>

## ④資金収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

歳計現金（資金）の出入りの情報を、性質の異なる3つの区分（「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」、「投資・財務的収支の部」）に分けて表示した財務書類です。

	(ア) 普通会計	(イ) 連結
<b>平成24年度末残高</b>	<b>22億2千万円</b>	<b>132億8千万円</b>
1. 経常的収支 行政サービスそのものによる収支	97億8千万円	113億7千万円
2. 公共資産整備収支 公共資産の購入等による支出と それに充てられる財源の収入	△28億8千万円	△39億2千万円
3. 投資・財務的収支 借入返済等による支出と それに充てられる財源の収入	△65億5千万円	△76億6千万円
<b>平成25年度末残高 <b>A</b></b>	<b>25億7千万円</b>	<b>130億7千万円</b>